

2022年2月1日発行

北京オリンピック・パラリンピックにも新型コロナウイルスの影響必至

最近の状況

新年になって早や一カ月。NEWS LETTER第29号をお届けします。新型コロナのオミクロン株の流行が世界に広がり、日本国内では連日過去最大が続いています。2022年2月から3月にかけて行われる北京オリンピック・パラリンピックも新型コロナウイルスの感染拡大による様々な影響を受けざるを得ない状況で、選手村や競技会場に近い地域では、市民への“ゼロコロナ政策”が一層厳しいものになっていると報じられています。

1月準定例会を開催しました

2022年1月20日（木）19時半から21時まで1月準定例会をzoom形式で開催しました。今回は、環境会計と非財務情報と題して、1. 環境会計の導入状況と統合報告書の作成状況（工藤克典さん）、2. 情報公開 財務情報、非財務情報、統合報告書（後藤文昭さん）を取り上げました。1では、環境会計が環境省の推進により導入されてきたが、ESGやSDGを含む非財務情報にとって代わられて来た状況とともに、統合報告書の作成が急速に増えてきていることを説明。2では、情報公開の状況について、非財務諸表（特にESGやSDGs）と統合報告書の内容を中心に説明がなされました。

参加者は10名、うち4名の新しい参加者がありました。今後、水環境懇話会、JAPAN-YWPの方々には、世代間の交流促進を目的として毎回の（準）定例会の案内をお送りすることになり、今回の新参加者のうちの3名は、この呼びかけに応じて参加いただいた方々です。

水道公論 2月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは「第4回アジア・太平洋水サミットの開催について（朝山由美子氏）」、コラム「海外水ビジネスの眼」では「いろいろな開発銀行」を掲載。



寒椿

定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が2月11日（金）20時から。2月、3月準定例会の開催内容の確認や今後の予定・集大成（投資とは何かなど）についての相談等を予定しています。1月25日に東京大学の滝沢智教授を訪問して（山村・岡部さん）お話を伺った報告も含まれます。
- 2月17日の準定例会は、今回もzoomにより19時半から21時に開催します。内容は、地球規模の緊急課題としての気候変動等地球規模問題との関わりの追求の一環として、「AETI（アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ）とアジア版トランジションファイナンスなど資金調達について」の報告（工藤克典さん）を予定しています。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。